



主な内容

- 平成24年成人式……………2
- シャトルバス「のんキー」が運行開始…4
- 市消防出初式……………5

あらみや公園にて市消防出初式はしご登り
(1月8日撮影)



大人への第一歩を踏み出す

平成24年成人式



新成人代表の堀岡瞳さんが、「成人となった今、これからは私たちが中心となって、野々市市の発展を支え、より良い市にしていきたいと思いたい」と謝辞を述べました



1月8日(日)、文化会館フォルテで成人式が行われました。今年の対象者数は、男性486人、女性221人の計707人。式には、男性139人、女性150人の計289人が参加し、晴れの門出を祝いました。

成人式実行委員7人は、この日のためにビデオ「20年のあゆみ」を制作しました。これは、10月から計6回、内容などを話し合い、実行委員自らが直接恩師の元を訪れ、インタビューし、撮影したものです。

式に先立ち、スクリーンには小・中学校時代のスナップ写真や恩師からのメッセージが流され、場内は拍手と歓声に包まれました。

式では、栗市長が「長引く経済不況により、私たちの日常生活は、先行きの不透明な状況に置かれています。新成人の皆さんには、こうした時代をたくましく生き抜き、自分の可能性を信じていろんな事にチャレンジして欲しい」と式辞を述べました。

式終了後、新成人たちは、久しぶりに顔を合わせた友人たちと、記念撮影などをして喜びを分かち合っていました。



晴れの日を迎えた新成人たち。自覚にあふれた神妙な面持ちで式に臨みました

記念撮影の前に、女性協議会の会員が晴れ着のすそ直しを行いました



20歳と選挙権
20歳になると、さまざまな権利と義務が生まれます。「選挙権」は、政治に自分の意思を反映させる大切な権利です。大人として自覚を持って必ず投票に行きましょう。

成人式 実行委員の 抱負



私を支え、成長させてくれた全ての人に感謝しています。私も誰かを支えられるよう毎日を過ごしていきたいと思っています。

高瀬 明日香さん



成人になった実感があまりありませんが、実行委員になったことで、少し持てました。これからは、責任を持って行動していこうと思います。

川窪 将平さん



1人の大人として自分の行動にはしっかりと責任を持っていきたいです。人のために何か行動できる人間になりたいです。

実行委員長 吉本 翔太さん



一人の社会人として自分たちに何ができるか、何をすべきかを考えて行動できるようにになりたいと考えています。

中川 恵三さん



20歳になり、これからは何をするのも自分の責任になってくるので、正しい判断をしながら責任ある行動をしたいと思っています。

奥村 千咲さん



お世話になった方々や友人への感謝を忘れず、立派な大人となっていくように努力していきたいです。

堀岡 瞳さん



節度のある行動、責任感を持ち、一人の大人として成長していきたいと思っています。

花谷 恵里さん



20歳になり自分たちにも社会的責任を問われるようになったので、しっかり責任を持った行動をとろうと思っています。

転正 聖さん



平成24年市消防出初式

式典に引き続き、庁舎南側のあらみや公園では、消防車両行進、はしごのほり、裸放水が行われました。天候に恵まれたこの日は、例年以上の見物客が訪れ、団員たちの勇壮な姿に、火消しの意気込みを感じていました。

1月8日(日)、情報交流館カメリアで、市消防出初式が行われ、消防団員、自警団員、消防職員の総勢300人が集まりました。式典では、永年勤続者や退団者など消防活動に尽力された方々への表彰が行われました。その後、栗市長が、「5万市民の生命・財産を守るには、自警団員、消防団員を初めとした消防関係者の協力が不可欠です。今後とも、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために努力して欲しい」とあいさつしました。これに答えて、清水一男市消防団長が「地域住民の安全安心に込められるように活動していきたい」と決意を述べました。

皆さんの一年の安心・安全を願って

1月8日(日)、情報交流館カメリアで、市消防出初式が行われ、消防団員、自警団員、消防職員の総勢300人が集まりました。

式典では、永年勤続者や退団者など消防活動に尽力された方々への表彰が行われました。その後、栗市長が、「5万市民の生命・財産を守るには、自警団員、消防団員を初めとした消防関係者の協力が不可欠です。今後とも、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりのために努力して欲しい」とあいさつしました。これに答えて、清水一男市消防団長が「地域住民の安全安心に込められるように活動していきたい」と決意を述べました。



5年勤続功労章

平浪 弘之(第2分団)、井高 孝志(第3分団)、松本 信孝(第3分団)、越島 順子(第5分団)、倉美佐(第5分団)、福塚 亨子(第5分団)

野々市市消防団長表彰

浅野 晃一(第2分団団長)、扇勝浩(第4分団)

10年勤続功労章

藤井 誠(野々市消防署消防士長)、東藤 貴博(野々市消防署消防士長)、奥村 伸合(野々市消防署消防士長)、乾野 雅之(第1分団団長)、田中 茂(第4分団)、宮前一夫(第4分団)

受章者 ※敬称略

石川県知事表彰

永年勤続功労章

優良消防団員表彰

坂井 邦治(第1分団)、熱野 竜一(第1分団)、古源 興市(第1分団)、伊藤 正浩(第2分団)、山口 和也(第2分団)、小寺 一樹(第2分団)、小堀 修一(第3分団)、宮崎 英明(第3分団)、塩田 健(第3分団)、田中 茂(第4分団)、浅野 敬治(第4分団)、長尾 清光(第4分団)、福塚 亨子(第5分団)

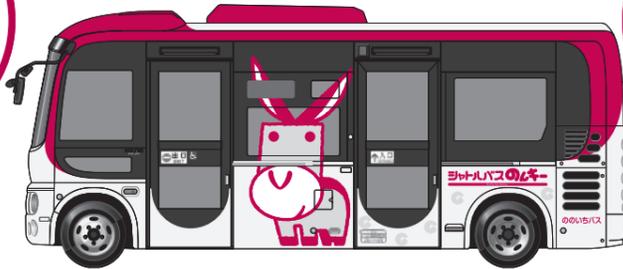
退職者感謝状

中村 茂(元副団長)、越野 昇(元第1分団分団長)、中村 義彦(元第1分団副分団長)、半田 清孝(元第4分団分団長)、安田 啓二(元第1分団)、山下 裕之(元第1分団)、徳成 伸司(元第2分団)、中村 一(元第2分団)、廣見 信夫(元第4分団)、本瀬 浩代(元第5分団)

3月1日(木)から

シャトルバス『のんキー』

JR 野々市駅



松任石川中央病院

駅と病院がつながる

シャトルバスは、民間バス事業者による運行を目指し、一昨年5月1日から3月31日までの間、市の南北を縦断する往復ルートで実験的に運行していました。しかし、市内の移動には既にコミュニティバス『のんキー』があるため、シャトルバスの利用は少ない結果となりました。そこで、市内だけでなく市外への

■運行開始時期

3月1日(木)から

■ルート(主なバス停)

JR野々市駅→スポーツセンター→文化会館フォルテ→野々市消防署→野々市市役所→南部公園→県立大学→白山市役所→松任石川中央病院

■ダイヤ・運賃

3月号と一緒にパンフレットを全戸配布します

が運行開始

移動も視野に入れて、住民要望の強かった公立松任石川中央病院までの広域的なルートで運行を再開します。公立松任石川中央病院は、市と白山市、川北町が共同で開設している総合病院です。車の運転ができない人には通院が不便でしたが、これと同病院が身近になります。

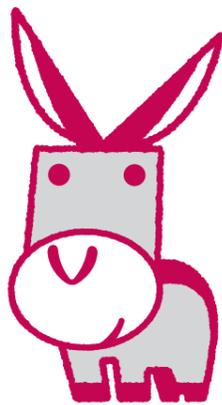
親しまれるバスを目指して

運行は、ののいちバス株式会社が実施します。同社は、4月以降もシャトルバスを民間路線バスとして継続運行していきたいという意向があり、今回、シャトルバスに『のんキー』という名前を付けました。市から運行を委託されている『のんキー』のように車両にデザインを施してPR効果を高めたいということです。『のんキー』のお友達として、より広域に運行するシャトルバス『のんキー』をぜひご利用ください。

のんキーの由来

数十年前に野々市にも来ていたという※ロバのパン屋のように、地域の人々に愛されるバスを目指したいということで、『ののいち』とロバを英訳した『ドンキー』を合わせて決定されました。

※昭和のはじめから、ロバあるいは馬に馬車をひかせて街なかを移動しながら売られたパン屋のこと。昭和30年代には、京都市に本社を置く会社が「パン売りのロバさん」のメロディーとともに、四輪の馬車をひくロバのパンとして日本各地を回ったとされ、子ども受けもよく多くの人に愛されたと言われています。



ひずめ(あしあと)
「の」の文字のような形の「ひずめ」です



ののいちバス株式会社キャラクター のんキー

学校給食を通して

食育について考える

学校給食の歴史とその在り方の変化

日本での学校給食の始まりは明治22年の山形県鶴岡町（現鶴岡市）の小学校でした。その後、昭和7年から栄養面や格差是正のために大都市を中心に開始されました。

戦後の昭和22年には、各地で次第に給食が開始され、このころから脱脂粉乳が使われ始めました。昭和29年には、学校給食法が施行されました。近年は「体を作る」という観点だけに留まらず、学校給食は「食育」として見直されています。



野々市中学校にて楽しい給食の時間
いただきます！

市内の学校給食の状況

現在、市内の給食は、3校分（野々市中、布水中、野々市小）が学校給食センターで作られています。その他の4校（御園小、菅原小、富陽小、館野小）は、それぞれ自校で作っています。学校には栄養教諭や栄養職員がいて、献立作成に限らず、食材の発注や調理員への衛生指導なども行っています。また月1回集まって、献立メニューを決める会議を開いています。

残さない給食を目指して

「せっかくなっても食べ残される献立では意味がありません。少しでも口に運べるように、また楽しく食事ができるように心がけています」こう話すのは、野々市中学校栄養教諭の石倉知代さん。石倉さんは、嫌いなものでも食べやすいものと組み合わせたり、食べやすいように細かく切ったり、季節を感じられる食材を利用するなどして工夫しています。

地産地消を考えて

1月23日（月）27日（金）は、学校給食週間として、地場産物を使って金沢、能登、野々市の郷土料理などのメニューが出されました。また、夏には地産地消を考え、地元で採れた夏野菜と野々市産米を使ったサマーカレー給食が恒例です。「今食べているものに興味を持ち、地元の食材や料理についてもっと知って欲しいです」と石倉さんは話しました。

給食から学んで欲しい

「給食は栄養補給以外にも正しい食事の量を知る機会でもありますし、いろいろ学ぶことができます。給食には、野菜などを作る農家の人、栄養士、調理員などたくさんの人が関わっています。嫌いなものでも残さず食べて欲しいですし、家でもしっかりと食べて毎日の学校生活を楽しくしてもらいたいと思います。また大人になっても食生活に気をつけて、病気になる前に健康的な食生活をして欲しいと思います」と子どもたちへの願いを話しました。



↑月1回の献立作成会議。
1月の会議ではすでに5月の献立について話し合っていました。

給食で出された地場産物を使った石川の料理

- ・**ヤーコンサラダ**
野々市の特産のヤーコンを使ったサラダ
- ・**治部煮風（すだれ麩入り）**〈金沢の郷土料理〉
小麦粉をまぶした鴨肉（または鶏肉）と、すだれ麩や野菜を甘辛い汁で似た料理を給食風にアレンジ
- ・**いしる煮**〈能登の郷土料理〉
イカのわたを塩漬けにして、その上澄みをこして作ったもの

野々市の食材を使った献立



平成23年7月15日（金）
サマーカレー
グリーンサラダ 福神漬け

玉ねぎ、トマト、南瓜、ナス、人参、キャベツ、きゅうり、コーン、福神漬け、バター、小麦粉油、じゃが芋、豚肉、チーズ、ハム、麦飯、カレールウ、牛乳。

※野々市産は赤字

平成23年度市一般会計補正予算 12月定例会

議会だより

議会議案を含めた25議案と諮問1件は、すべて原案どおり可決・認定されました。



可決された議案

平成23年度市一般会計補正予算

3億5,858万9千円を追加し、予算総額を155億3,491万4千円とする。

■**主な内訳** あわだ保育園の新築工事や福祉事務所設置に伴う扶助費、布水中学校の校舎改修費などによる増額。

平成23年度市土地取得特別会計補正予算

467万7千円を減額し、予算総額を3億6,333万円とする。

■**主な内訳** 入札の結果、公営住宅用地取得のための借入金にかかる利率が想定利率より低かったことによる調整。

平成23年度市国民健康保険特別会計補正予算

1億1,536万7千円を追加し、予算総額を43億1,036万7千円とする。

■**主な内訳** 決算見込に伴う保険給付費やシステム改修などによる増額。

平成23年度市下水道事業特別会計補正予算

1億357万6千円を減額し、予算総額を18億3,642万4千円とする。

■**主な内訳** 公共下水道事業費や前年度決算に係る申告消費税の確定などによる調整。

市第一次総合計画基本構想の策定

10年間の計画期間として市第一次総合計画基本構想を策定した。

市部制条例の一部を改正する条例

機構改革のため一部名称変更および業務の所管換えをすることに伴う条例の一部を改正する。

市防災会議条例の一部を改正する条例

白山石川広域消防本部の名称が白山野々

市広域消防本部に変更になったことに伴う条例を改正する。

市税条例の一部を改正する条例

地方税法等の一部を改正する法律などの施行に伴い、寄付金控除関連、軽自動車税の納期の変更のため条例の一部を改正する。

市学校給食センター設置条例の一部を改正する条例

簡易運動広場の一部を売却したことにより隣接する学校給食センターの地番が変更となったため条例を改正する。

市体育施設条例の一部を改正する条例

水泳プール年間利用券の発行、簡易運動広場の一部を売却したことにより体育施設の名称変更を行うことから条例の一部を改正する。

市道路占用料条例の一部を改正する条例

市制施行に伴い道路法施行令を準用し、道路占用料の額を改正する。

市建築基準条例

県建築基準条例の適用除外区域の指定において、本市の区域が指定されることから新たに条例を制定する。

市開発行為の規模を定める条例

県の事務処理の特例に関する条例のうち、都市計画法および法の施行のための規則に基づく事務を本市が処理することにな

ることから、新たに条例を制定する。

市道路線の廃止

市道路線の認定
位川地内、矢作3丁目地内における開発行為に伴い1路線廃止し、3路線認定する。

県市町村職員退職手当組合規約の変更

県市町村職員退職手当組合規約の変更
本市が構成団体の一員となっている一部事務組合などについて市制施行に伴い規約を変更する。

認定された諮問

人権擁護委員候補者に推薦された西野沙知子氏（押越1丁目）について適任と認定する。

可決された議会議案

- ・免税軽油制度の継続を求める意見書
- ・「子ども・子育て新システム」の撤回を求める意見書
- ・介護職員処遇改善交付金事業の継続を求める意見書
- ・看護師等大幅増員と夜勤制限で安全・安心の医療・介護の実現を求める意見書
- ・地方消費者行政に対する国の実効的支援を求める意見書
- ・国民生活の安心と向上を図る各種基金事業の継続を求める意見書
- ・防災会議に女性の視点を取り入れることを求める意見書

一般質問

市政全般にわたり、辻、田中、大東、岩見、川、尾西、中村、村本、平野、金村、西本、早川議員の12名が一般質問を行いました。

質問者と質問、答弁の要旨は次のとおりです。(発言順)

安心できる心豊かなまちづくり

辻 信行 議員



Q 昭和30、40年代に開発された住宅地において、水害を防ぐためにも用排水路整備の必要性を問う。

A 農業用として必要のない用排水路は雨水排除計画を鑑み、今後、側溝の底上げなどの再整備を検討したい。

Q 人口密度も高い本市において、駐車場も完備された3ヘクタールほどの大きな森公園は、有事の際には避難場所や仮設住宅にも応用が可能であるため、造成を提唱する。

A 北西部土地区画整理地内において約2・8ヘクタールの公園整備を

進めている。駐車場の完備、緊急避難地、仮設住宅などの防災公園としての活用を考慮している。また、野々市中央公園の拡充についても調査中である。

Q 特色のあるまちづくりにおいて、産・学・官にプラス民の力を。どのような形で協働できるのか、市長の意気込みを問う。

A 「市民協働のまちづくり」「野々市ブランドの確立」「公共経営」の3点について、実践していきたい。

市制施行、図書館建築と中央公民館改築

田中 昭一 議員



Q 2011年を振り返ると3月11日に起きた「東日本大震災」。個人として南三陸、志津川、戸倉町へ約60日間のボランティア活動に行ってきた。テレビや新聞などの報道とは違い、驚きと絶

望の思いで愕然とした。市政づくりについて、先般、野々市市第一次総合計画基本構想、都市計画マスタープランが提出された。これからの市政づくり、市長の思いの一環を尋ねる。

A 本市だけが持つ魅力をさらに掘り起こし、都市としてのブランド力を高め、好感度や知名度、幸福度の高い市民が生活する都市を目指したい。

Q 新図書館を新築すべきではないか。また、中央公民館は老朽化している。多くのサークルが中央公民館を活用しているが、高齢者や体の不自由な人が多く利用しており、階段を上がる姿を見かけるが、大変苦痛に感じられる。

災害対策、防災会議に女性の登用提案

大東 和美 議員



Q 災害時における女性の視点を災害対策に取り入れたい。防災会議に女性を登用、男女共同参画との連携推進を提案する。

A 防災会議の構成員の中では、石川中央保健福祉センター所長が女性である。防災ではこれまでも女性の意見を取り入れているが、防災計画の見直しの際にも女性や障害を持った人の意見を反映していきたい。

Q 滞在型文化芸術施設を提案する。芸術文化型宿泊施設に図書館やカフェの設置を提案する。新図書館建設の時期、場所を伺う。

A 滞在型文化芸術施設であるが、近隣に宿泊施設が多くあるため、設置は考えていない。新図書館は今後あらゆる点から研究したい。

改築を契機に、周辺整備やエレベーター設置などバリアフリーにできないものか、検討を願う。

A 中央公民館は老朽化に伴い、緊急性の高い箇所から順次修繕を行っている。旧庁舎周辺の地区はバリアフリーにも配慮し、人が集う魅力あるまちづくりが必要と考える。本町地区の活性化につながるよう調査したい。

Q 超高齢社会の視点をまちづくりに生かせ。民の財政力を活用することで、ミートイングルーム、バリアフリー、障がい者用、2世帯用、ファミリー用など多機能な住環境を建物建設条件にし、まちづくりをしてはどうか。高齢者の雇用を産官学財で創出することを期待する。

A 超高齢化社会の視点からの提案などは野々市産業戦略会議に伝えたい。今後、市民団体をはじめ、大学、商工会、JAなどの関係機関、市が一体となって市民協働のまちづくりを進めたい。

Q 大きな事故を防ぐ施設管理を提案する。道路に穴があき事故が起きる前、屋根が雨漏りする前、予防・保全するために、施設の規模、建設年度、費用、設計者、施行者、敷地の状況、工事履歴などの情報を体系的に収集し、施設台帳を電

子システムで管理することを提案する。

A 各施設において予防的な修繕、計画的な維持管理を順次実施し、ライフサイクルコストの縮減を図りたい。

Q 墓地について、場所、設置時期を問う。

A 市営、共同墓地を合わせ、現在2千区画あるが、今後10年間で5千区画に増設したい。また、墓地の場所については土地区画整理事業可能性調査の中で設置の検討をしている。

自校方式給食で食育・地産地消の推進を

岩見 博 議員



Q 高崎市の自校方式学校給食の視察から、食物アレルギー代替食もきめ細かく対応できる、調理場からの匂いで給食が楽しみになる、より新鮮でおいしい給食が提供できることが理解できた。本市のセンター化は、これらが失われるのではないかと。市・県産食材の使用率と、使用を拡大する方策は。センター化によるデメリットの検証をおこなってきたか。

A 新給食センターではアレルギー食専用調理室で調理するので、より安全な対応食を提供できる。また給食センター化しても、栄養士の定期的派遣による児童との交流の実施、調理現場の見学・試食・調理デモにおいて、これまで以上に食育を実施できる。地場産物の使用については、JAや生産者の理解・協力のもと献立作成を行っている。給食センター化による検証であるが、財政的観点だけでなく、食育や安全性といった観点からも比較検討を行った。

TPP参加で市民のくらしは

Q 本市のコメントにも影響がおよび、遺棄、お金持ちしか良い医療が受けられないなど、市民の暮らしが打撃を受ける。市長の認識と政府に参加表明撤回を求める考えはないか。

A 全国市長会が農林水産副大臣にTPPについて慎重な対応を求める要請をしている。今後のTPPの交渉については関税以外の障壁が議論の焦点になると考えられるため、政府の情報や対策に注目したい。

歯科検診を特定健診に

Q 35歳以上の8割が歯周病患者と言われている。虫歯・歯周病の早期発見、早期治療に定期検診が有効では。

A 6月の歯の衛生週間の時に歯の健康フェスタと題して歯科検診を実施している。また、乳幼児健診や妊婦

教室の際にも歯科医などによる指導を行っている。

安定ヨウ素剤の備蓄を

Q 志賀原発事故に備えた地域防災計画の見直しと、安定ヨウ素剤の備蓄を。

A 地域防災計画の中でも市独自で見直しができる点については、専門家などの意見を参考に順次検討している。志賀原子力発電所と本市の距離が約

野々市市の未来を栗市長に問う

川 哲郎 議員



Q 「野々市市第一次総合計画」基本構想の策定においての提案説明や、所信表明からも、栗市長の新しい市に対する意気込みは、とても心強く、本市の新たな船出と明るい未来を改めて感じさせる力強いものだった。市長が描いているこれからの本市に必要な施策、取り組みなど、具体的な計画・展望を示せ。本市独自の特色あるオリジナリティーあふれる計画・施策などを尋ねる。市長の心の中に「ビジョン」「構想」「未来に繋がる

ような夢のある計画」はあるのか。栗市長が思い描いている野々市市の未来像・方向性についての見識・見解を伺う。

A 今回提案した総合計画基本構想にも本市のビジョンなどを網羅したが、中でも重要な施策の一つとしては、まちづくり基本条例の制定があげられる。市民とともに作り上げる作業の過程と、その結果できる条例は本市独自のものがあり、市民が理想とするまちづくりの方向性を示すものになると思っている。

ぬくもりのある街づくりについて

尾西 雅代 議員



Q 自転車に対する規制も、痛ましい事故と共に連日強化するとの報道がある。3年前に自転車道の環境整備に

ついて「努力する」と回答を得た。その努力の成果は。環境整備は市道全体の何割か。自転車利用者はマナーの向上、行

政は歩道拡幅などの環境整備が必要ではないか。自助、共助で安全安心の生活環境に本気で取り組んでいただきたい。

Q 自転車が行きやすい歩道の整備状況は、市道全体に対し、約19%である。また市が整備する道路で、歩行者・自転車の利用が多い場所は幅員の広い歩道を設置することになっている。さらに歩道整備にあわせて15か所の交差点の段差解消を予定している。マナー向上の点では各種団体・住民の協力のもと、自転車りんりんマナーアップキャンペーンをはじめとする取り組みを行っている。

Q 堀内上林線の朝の交通量を把握しているか。歩道がなく路肩もほとんどない。そこを多くの車、自転車、歩行者が行きかっている。この現状をどう考えるのか。

A 平成22年度に行った調査によると、この路線の交通量は朝の通勤

時間帯で1,700台ほどである。この沿線にあたる中林地区で行っている土地区画整理事業可能性調査の中で、堀内上林線、四十万中林線を都市計画道路として位置づけ、道路整備方針を検討している。

Q 栗田保育園が移転する。南部地区には子どもが安心して遊べる屋内施設がない。地域が孤立しない環境対策を検討せよ。

A 児童館や子育て支援センターなどの整備計画はないが、新設予定の保育園には放課後児童クラブを併設する予定である。

Q 公園や道路には樹木が植栽され、緑あふれる大変好ましい光景である。そこで、樹木には名札を付けてほしい。我が市がほっこりとしたぬくもりの街であることを感じると思うがいかがか。

A 名札の設置について今後検討したい。

市民への幸せ度に対する心意気は



中村 義彦 議員

Q 石川県が「幸せ度」全国3位になり、本市も石川県No.1の「幸せ度」の心意気を語れ。

A 人と人のつながりや絆に重きを置く市民協働のまちづくりを推し進めたい。すべての市民が市民協働の考えを認知し実践することによって、幸せ度

の高い市民が生活する市を作り上げていきたい。

Q 「北国街道、野々市の市」の定着化への市の支援、および北国街道沿いの街並み保存に対する市の対応について、市民主体のイベントではあるが、定着化へのさらなる市当局の支援および、北国街道沿いの国の伝統的建造物群

A 市役所の組織については、業務内容の変化、必要性に応じて常に見直しと検討が必要と考えており、今後研

究したい。消防サイレンの活用については、町内会や消防関係者の意見を聞き考えたい。

都市計画マスタープランについて



平野 政昭 議員

Q 野々市都市計画マスタープラン(案)の概要版で示されている地域別構想北部地域の概要から質問する。中央公園周辺を健康と防災の拠点と位置づけし、広域防災拠点として機能の充実を図るとなっているが、広域防災拠点の面積をどの程度想定しているのか。また、広域防災拠点の内容はどのようなものと考えているのか示せ。

A 野々市中央公園周辺は国道8号などに近接し、交通の利便性が高いことから、この特性を導きだすことができるよう、必要とされる機能の選択を

めて検討している。規模については、現在の約2倍程度に拡張することを考えているが、土地区画整理事業可能性調査の結果により方針を定めていきたい。

Q 都市計画道路を延伸する予定について、高尾堀内線は地域の居住環境を整えていく上でも、防災基盤を整備する上でも重要であるので、早期着工をお願いしたい。

A 区画整理事業可能性調査において、接続先を選定しているところであり、行政界をまたぐ路線でもあるため、白山市との調整を進めている。

介護問題について



金村 哲夫 議員

Q 在宅での介護が困難になった時には、速やかに施設に入所できることが必要である。特別養護老人ホーム富樫苑では、11月末現在、50人以上の待機者があり、その内、要介護3以上の人が42人いると聞いている。こうした中、市長は富樫苑の整備・拡張を進める計画

を持っているのか。また今後は、急速に

高齢化が進むことが予測され、高齢者だけの世帯も増加している。在宅での生活が困難になった人が安心して生活していくためにどのように考えるか。

A 富樫苑の待機者の中で緊急性が高い人は16人程度で、その中でも在宅の6人は早い段階での入所が望ましいと判断する。また、申し込みから入所

保存地区選定への調査、研究および独自の保存施策を求める。

Q 市民が主体となったまちづくりの活動が地域活性化の原動力となることから、市としてもサポートしていきたい。本町地区まちなみ保存について、都市計画マスタープランに基づき、市民や地区住民の意向調査を実施し、景観条例の策定につなげ、歴史的まちなみの保存と再生を進めたい。

野々市市が誕生して



村本 道治 議員

Q 11月11日の式典は古代の聖なる儀式をほうふつとさせる厳肅にも祝祭ともいべき誇りうるものであった。海をも越えて発信することができたと感じる。市制後の「児童生徒と市長によるフォーラム事業」の成果は、継続しては。

A 子どもたちが野々市市の現状や将来を考えるきっかけとなり、ふるさと野々市への理解が深まるとともに、地域社会の一員としての自覚を持ってくれたのではないかと考える。

Q 野々市市の最初の総合計画について
Q 将来都市像として「人の和で椿十徳 生きるまち」野々市がいい、住み続けたい、ののいち人、ののいちっ子とともに、と謳われた。地方の時代に

Q 野々市市独自の線量計導入について、有事の際の迅速な市民への情報提供のため、本市独自の線量計導入を求める。

A 白山野々市広域消防本部において保有しているガンマ線・エックス線用線量率計3台のうち、1台を野々市消防署に配備し、有事の際の情報提供に備えたい。

ふさわしい自由度の高い基本構想の要部分を市民と共有するには、椿十徳を具現するには。

A 本市を取り巻く環境は厳しいものがあるが、市民とともに歩み、育み、安全・安心でいつまでも住み続けたい魅力あふれる、にぎわいのあるまちづくりに向けて、全身全霊で取り組みたい。

Q 新年度の予算・機構改革について
Q 行政しか得にくい情報を、「産業戦略会議」などへすみやかに提供できる機構を整備し、予算編成にあたっては、市長部局の中に文化、スポーツ、図書館などの社会教育・生涯学習分野を移管しては。特に防災についての事業の重点は、手始めに4地区にある消防サイレンを鳴らしてみてもどうか。

までの期間は在宅の人は平均3か月、施設の方は7から12か月である。このような状況から緊急に富樫苑の整備拡張を行う必要はないと考える。また、介護施設の整備や介護サービスについては、策定中の第5期介護保険事業計画で検討したい。

Q 現在の学校給食センターでは、給食を中学校2校と野々市小学校1校分1,900食を作り、増築後、市内すべての小中学校分で5,250食を作ることになっている。増築分から出る食品残渣は、月3トンから4トン程である

うと思われる。食品残渣の堆肥化の検討は、資源循環型社会の構築のため、生ごみのリサイクルは有効と考える。食育や環境教育などさまざまな波及効果が見込まれると思うが、いかがか。
A 新給食センター敷地内での堆肥化の影響を鑑みると現実的ではないと考える。民間への委託については、堆肥化の方がコスト増となること、堆肥の産出量や流通ルートが不明確であることなど課題がある。資源循環型社会の構築に向け研究は続けたい。

野々市市の除雪体制の強化を求める



西本 政之 議員

Q 平成22年度の大雪の教訓から、第3次路線の除雪の際、地域間の時間差を短縮するために、さらなる除雪体制の強化を求める。また市民の自助・共助を後押しするために、町内会などでの小型除雪機の購入に対して助成することを求める。

A リース車両1台、小型除雪機2台を増やし、除雪体制の強化を図った。また、町内会などでの小型除雪機購入に対する助成については、具体的に検討したい。

Q 市内公立保育園で職員や保護者が使用する成人用トイレが不足している。職員の健康管理と、行事の際の保

護者の使用を考慮して、特に不足が顕著な御経塚保育園の成人用トイレの増設を求める。

A 職員などの健康管理や衛生面などから、解消する方策を具体的に検討したい。

Q JR野々市駅と松任石川中央病院との間に運行予定のシャトルバスについて、運行ルートや運行ダイヤの周知が必要と考える。のっティに比べて知名度が低いシャトルバスをどのような手段でPRするのか、具体的な方策を伺う。

A ダイヤなどの詳細が確定次第、市ホームページに掲載するほか、パンフレットを作成し、全戸配布したい。

また、シャトルバスルート沿線の事業所などに対し、バス事業者などとともに利

用促進に向けたPR活動を行いたい。



新市に期待するもの

早川 彰一 議員

Q 市制施行直後、市内2中学校、5小学校で「市長フォーラム」が開催されたが、次代を担う児童生徒の目から見た率直な意見や要望はどのようなものがあり、市長はどう感じたか。

A 小学校では「市長になって最初にやりたいことは何か。」「公園に遊具を増やしてほしい。」「中学校では「市になって中学校に関係することはあるのか。」「教室にクーラーをつけて欲しい。」などの意見・要望があった。子どもたちは思った以上に市の現状や将来について真剣に考えており、頼もしく感じる事ができた。

Q 市は体育施設をはじめ多くの公共施設を有しているが改修時期に来ているものが多い。中でも設備も老朽化している市民野球場を大学野球やBCリーグの公式戦ができるような「野々市椿スタジアム」に大改造することを提案する。市民の夢を大きく膨らませ、防災の拠点としても役立つのではないか。

A 市民野球場は地区公園の野球場として整備し、軟式野球を想定したものであり、配置面でも道路に近接しているほか、駐車場の確保などの問題があるため、BCリーグなどの公式戦ができる

ような改修は困難と考える。

Q 市となってさらに交流人口の増加が懸念される。各集落には幅員が狭く曲がりくねった市道が多く存在するが、新たな市の交通安全対策について市長の考えを聞く。

A 狭隘道路拡幅整備事業として、幅員4・84m未満の道については建築などの事案があった時、土地所有者からの用地協力が得られれば、測量から整備までの費用を市が負担し、道路を拡幅している。また、学校周辺や通学路の歩道整備などの安全対策、交差点のバリアフリー改良も行っている。

Q 市民の高齢化により健康を維持し互いに交流を深めることが、まちづくりにより重要である。市では地域サロン事業を展開しているが、さらなる普及のために積極的な支援を望む。

A 地域サロンを立ち上げる際に地域包括支援センターや地域相談センターに相談すれば、指導・助言をしている。また補助制度は近年変化しているの

議会活動

12月16日から1月15日

12月 16日 定例会（討論・採決）

1月 6日 議会運営委員会

13日 南加賀市議会議長会総会

入札結果

1000万円以上（税込み）
12月分入札

- 北西部土地画整理事業 区画街路築造工事 第80工区
予定価格 1491万円
落札価格 1417万5千円
落札者 (有)コウセイ

ご寄附

ありがとうございます

- 市福祉基金
▽連合石川かが地域協議会様から 4万円
▽野々市市勤労者協議会様から 2万6800円
▽野々市リフレッシュ様から 2万5062円
▽マリーゴールド様から 1万8396円

- 市社会福祉協議会基金へ
▽株式会社絹川商事代表取締役社長 絹川善信様から 30万円
▽関西野々市会会長魚野政治様から 3万円
▽野々市市グラウンドゴルフ協会様から 2万6979円

総務大臣表彰

▽多年にわたり、国勢調査員として、国勢調査事務に尽力される



前川 靖子氏 (押野五丁目) 藤 力氏 (高橋町)

市感謝状

北 弘之氏 多年にわたり市生活安全審議会委員として防犯・交通安全の推進、良好な生活環境の保持に努め、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりの推進に尽力される。

あなたの意見が、野々市を創る!! 地域福祉計画・地域福祉活動計画 地域座談会が終了しました!!

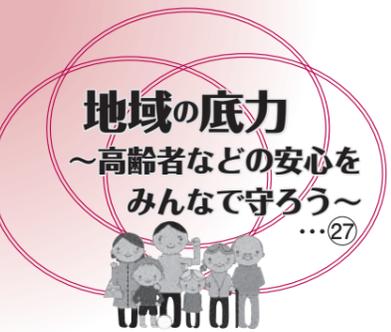
地域座談会とは...

「地域福祉計画」および「地域福祉活動計画」の策定のために平成23年8月17日から11月17日にかけて、市内19カ所計507人が参加しました。住民の皆さんが日ごろ感じている地域の心配事や助け合い・支え合い、地域自慢などについて話を聞きました。

地域座談会では...

地域座談会の全体的な傾向をみると、地域で支援が必要な人に対する「見守り」や「日常的な支え合い」に関する意見が多くありました。ついで「町内会活動」、「若い世代の地域参加」や「世代間交流」などについての意見がありました。「地域で福祉」を創るには、地域住民にとって最も身近な「町内会活動の活性化」をはじめ、「地域住民の参加・交流の場づくり」も大切な課題であることが分かりました。

大勢の市民が集まっていたが、グループワーク形式で計画の素案を作っていきます。参加者の募集は、来月号に掲載予定!



当日参加いただきました住民の皆さんをはじめ、参加呼びかけにご協力いただきました町内会役員、民生委員、各種団体の皆さんほかたくさんの方々に感謝いたします。
地域福祉計画策定委員会
地域福祉活動計画策定委員会

「アパート・マンション等の新しい住民との交流」に関する事など、各会場でさまざまな意見が出ました。詳しくは報告書にまとめ、市HPにも掲載する予定です。

男女別参加者数

男性	女性	合計
259人	248人	507人



計画策定までの流れ

市と市社会福祉協議会では、平成23年4月から2年間かけて「地域福祉計画」および「地域福祉活動計画」を策定しています。

地域座談会の他にアンケート調査、テーマ別部会を通して住民の声を反映した計画づくりを行っていきます。



市として祝う 新年の門出

新年互礼会

市になって初めての新年を迎えた1月4日(水)、新年互礼会が情報交流館カメリアで開かれました。会場に集まった約300人を前に、栗市長は市となった昨年11月11日を振り返り「あの日の思いは一生忘れられない。その思いを大切に、市民協働でまちづくりを進めていきたい」と、決意を述べました。引き続き、北村市議会議長、吉田・徳野両県議会議員があいさつし、村山市商工会長の発声で乾杯しました。また、西村JAののいち組合長のあいさつの後、藤市連合町内会長の音頭で万歳三唱しました。



広がる支え合いの輪

歳末たすけ合い募金

市社会福祉協議会では毎年、歳末たすけ合い運動を行っています。12月22日(水)には、民生委員・児童委員が市内と周辺の54の施設・病院及び地域を慰问し、集まった募金約817万円のうち約517万円を支援を必要とする高齢者や障害者など約1460人に手渡しました。富樫苑では委員が、入所者一人一人に慰问金を手渡ししながら「体に気をつけてくださいね」と声をかけていました。

また今年は、東日本大震災を受け、地域の住民が団結して支え合うことの大切さを改めて実感する中での運動となりました。

いつまでもスポーツを楽しむために

スポーツ傷病の予防と応急手当て講習会

スポーツ中に起こる事故の予防策や、いざというときの応急手当てを学ぶ講習会が、2回に分けて市民体育館で開かれました。

このうち、12月13日(水)に行われたのは、テーピングによる応急措置などの実技。講師の宮本孫之氏は「テーピングはあくまで応急処置。すぐに病院に行くことが大切」としたうえで、目的別の処置方法を紹介しました。20人の参加者は、筋肉に沿って縦と横に使い分ける複雑な貼り方に苦労しながらも、緊急時に備えて真剣に学んでいました。



お正月を笑顔で過ごしましょう

福笑い作り

12月14日(木)子育て支援センター和光でお正月に向けた福笑い作りが行われました。先生の手ほどきを受けながら、お母さんが顔の型をマジックで丁寧に書き、はさみを使って顔のパーツを作成。子どもたちは、簡単なのり付けを行っていました。「もう少しでできるよ〜」「上手にできたね〜」とお母さんが子どもに話かける姿も見られ、仲良く完成させていました。

このあと親子は、出来上がった顔を使って、楽しそうに遊んでいました。

首都東京に響く、野々市「市」の産声

市制施行記念交流会in東京

市制施行を記念して、関東在住の野々市市の応援団を増やそうと、12月22日(水)、都内のホテルで交流会が開かれました。会場には、東京野々市会の会員ら野々市にゆかりのある約70人が集まり、郷土のますますの発展を願いました。会では、栗市長と北村市議会議長らがあいさつし、地元国会議員・県議も駆けつけ、祝辞を述べました。

交流会に先立ち、栗市長、重要無形文化財「時絵」保持者の中野孝一さん、ギタリストの井上智さん、金沢工業大学東京虎の門事務室長の泉屋利吉さんによる対談が収録されました。金沢ケーブルテレビネットで下記時間帯に放送されます。

放送時間

金沢ケーブルテレビネット
デジタルハイビジョン009ch

- 2月 6日(月) 正午～
- 7日(火) 午前8時半～
- 8日(水) 午後4時半～
- 9日(木) 午後6時半～
- 10日(金) 午後7時～



草木染めスカーフ



写真展「野々市 今・昔」



↑ふるさとの味(かぶら寿し、ヤーコンの天ぷら、キウイフルーツ)がずらり



↑毎年BIG APPLE in Nonoichi に出演している世界屈指のギタリスト井上智さんによる生演奏

みんなで辰年の準備

本町児童館で恒例のカレンダー作り

12月26日(月)、本町児童館で年末恒例の干支のカレンダーづくりが行われました。

この日は、外は雪模様でしたが、参加した7人の小学生はお気に入りの辰のイラストをスチレンボードに刻み、インクを付けて台紙に刷り込んでいました。最後に、この版画の下に1年の暦を貼って見事完成。

この日は、1年から4年生が参加していましたが、児童館では、高学年の利用が年々少なくなっているため、もっと5・6年生も遊びにきてほしいとのこと。



オススメの本

子ども向け



「雪のやり」
宮沢 賢治/作 岩崎書店
カチカチにこおった雪の野原で、子どもたちが、不思議なきつねの子どもと出会い、仲良くなった。
小さな子が初めて出会う宮沢賢治の名作童話。

大人向け



「子育てママの家づくり 改訂版」
加藤 充/著
幻冬舎メディアコンサルティング
「子育て世代にこそ、庭つき一戸建てを！」土や花、動物とふれあって、子どもの心も豊かに育つはず。家事の大半を仕切るママの目線で、理想の住まいを手に入れる方法を伝授。

野々市市立図書館
〒921-8815 野々市市本町2丁目14番6号
☎248-8099
開館時間 10:00~19:00 (土日は17:00まで)
休館日 毎週月・祝日

今月のおはなし会

とき：2月4、25日(土)
午前11時から
場所：図書館1階
児童図書コーナー

楽しい絵本や紙芝居の読み聞かせです。誰でも自由に参加できます。

今月の展示図書

テーマ「私小説」
※展示期間中は貸出できませんので、予約をお願いします。

図書館お役立ち情報：毎月発行の「図書館だより」には、図書館や本の情報が満載。市内の公共施設やホームページでも読めます。

Topics

4月1日から 建築物の確認検査業務等を市役所で実施します！

市では、4月1日から特定行政庁として業務を開始します。これまで県が行っていた建築基準法に関する確認審査業務（確認申請、中間・完了検査等）を市で実施します。また、都市計画法に基づく開発行為の許可など、次の業務を市で直接行います。

4月1日より市で実施する主な業務

- ・建築確認申請の審査および中間・完了検査
- ・確認申請台帳に記載されていることの証明
- ・建築計画概要書の閲覧
- ・都市計画法に基づく許可等の申請（開発行為等）
- ・開発登録簿の閲覧並びに写しの発行
- ・長期優良住宅の認定申請
- ・建設リサイクル法の届出
- ・石川県バリアフリー社会の推進に関する条例（バリアフリー条例）の届出
- ・エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）の届出
- ・石川県景観計画に基づく届出

※ 4月1日以降の申請手数料につきましては、市に現金で納付いただくこととなりますのでご注意ください（※県証紙は利用できません）

※各種申請書や添付書類等の詳細については、順次、建設課窓口および市ホームページでお知らせします
問い合わせ 建設課 建築開発担当 ☎227-6087



12月16日(金)、車椅子2台が株式会社かんぼ生命保険金沢支店から市社会福祉協議会へ贈呈されました。これは、同社の社会貢献活動の一環。高性能の車椅子を贈られた宮崎昭男社会福祉協議会理事長（写真右）は「市民の皆さんに周知して、広く活用していく」と西川久雄同社金沢支店長（写真中央）にお礼の言葉を述べました。この2台は、貸出用として社会福祉協議会事務所と老人福祉センター椿荘に置かれました。年齢や事故・病気・障害の種類に関係なく、だれにでも短期間の貸出を行っていますので、必要な時は、社会福祉協議会（☎246・0112）へ問い合わせしてほしいとのこと。

社会福祉協議会に車椅子贈呈 — 企業の地域貢献活動 —



子育て支援センターアリスが二日市町内で、昨年4月にスタートしました。普段からイベントなどを考え親子と触れ合う別所先生にお話を聞きました。

●10カ月経ちましたが、状況はどうか

4月から多くの人に利用してもらっています。「来るのにドキドキしました」と支援センター自体初めて利用される親子も多いですよ。

●最近どのようなイベントがありましたか

「作って遊ぼう」や「クリスマス会」には多くの人に来ていただきました。クリスマス会にはサンタさんも来て、子どもたち1人1人にプレゼントを渡しました。子どもたちが、目を輝かせて受け取る姿は印象的でしたね。

●普段から大切にしていることは

私も子育てを経験した身ですから、子育て中のお母さんの気持ちがものすごく分かります。なので、育児で抱える悩みを少しでも和らげたいと思いますし、楽しんで遊んで、親子で笑顔になって欲しいと思っています。

かがやくひとみ

「親子の笑顔を大切に！」

子育て支援センターアリス



「作って遊ぼう」



クリスマス会

野々市検定

～新しい発見があるかも!?～
正解は18ページで

市の魅力を伝える野々市検定第11弾。富樫氏にまつわる問題を作成しました。楽しみながら挑戦してみてください。

〈1問目〉1063年に野々市に館を築いたとも伝えられている富樫家。その館はどこにあったと言われているか？
A. 押野地内 B. 末松地内
C. 住吉地内 D. 三日市地内

〈2問目〉富樫家国の功績を称え、銅像が建てられた場所はどこ？
A. 市立図書館 B. JR野々市駅
C. 野々市市役所 D. 文化会館フォルテ

〈3問目〉富樫氏をまつる本町にある布市神社は、明治時代以前はなんと呼ばれていたか？
A. 住吉神社 B. 白山神社 C. 八幡神社 D. 日吉神社

わたしの夢

ぼくの夢

ケーキ屋さんになりたい
片口 育美さん
野々市小学校1年

人を喜ばせる画家になりたい
近堂 壮一郎くん
菅原小学校2年

『もしも』の時の安心と信頼

会員募集 会費無料 JAのいちコスモスの会

JA指定ホール 天祥閣
フェニックスホール
野々市市矢作2丁目111番地 電話(076)294-4141

フリーダイヤル 0120-800-448
URL http://www.tensyoukaku.co.jp

スピード 給付の 県民共済

こども型 総合保障型
熟年型 新型火災共済

お問い合わせと資料のご請求は
☎0120-63-5011
☎076(263)5011(代) ☎076(263)5107
[共済取扱団体/石川県認可] 石川県民共済生活協同組合
〒920-0901 金沢市彦三町2-1-10 真和ビル3F
ホームページアドレス http://www.ishikawa-kyosai.or.jp/
携帯電話からはこちらへ http://kyo-sai.jp/

JR野々市駅南口 新しい街。 つばきの郷

野々市 つばきの郷

宅地(保留地)分譲中!
○販売面積 50.00坪～ ○販売価格 1,100万円～
野々市市西北部土地区画整理組合
石川県野々市市三日市町104-1 TEL. 076-246-3301
URL http://www.dimp.net/~tsubakinotsato/

広告欄

川岸 琉也	新 ちゆな	藤田 葵陽	釣見 豪太	川端 希依	坂口 優月	畝村 凌空	杉坂 奏弥	青木 紗英	東 玲実	宮中 柊
真由子	利友和	和敦士	美奈	由美史	絵美	麻衣子	有佑己	浩允	千玲	晶篤
堀内 3	押野 7	御経塚 1	新庄 5	田尻町	太平寺 3	長池	御経塚 3	下林 1	栗田 2	高橋町

五香	白畑	佐賀野	瀬戸	東	久田	三室	砂川	笹山	小林	久保	西	金屋
穂花	葵	泉	紉菜	芽依	佑加	樟也	大智	しん	勇誠	凜奈	実優	瑠夏
麻賢美	香織	英智	静香	志帆	明希	晴子	陽志	美奈	裕樹	志奈	教輝	あかね

松本	三村	森下	水谷	金井	面谷	磯谷	前田	伊藤	佐藤	高瀬	岩崎	野村
悠花	美緒	遥香	奏	杏樹	心希	陽志	滯亜	龍斗	暁乙	智行	旺祐	紗良
桂博子	友美	健二	尚子	未希	洋輔	智明	真弓	則人	奈穂	理香	恭兵	朝美

蓮谷	濱中	伊東	高橋	小竹	大成	牧嘉	森岡	中岸	滝澤	宮内	瀬戸	山本
三夢	夢衣	和子	陸宏	未智	三納	三納	横宮	川北	白山市	御経塚	御経塚	大阪府
内灘町	押越	金沢市	御経塚									

中島	吉野	萩田	大谷	澤村	市田	西岡	鶴見
潔	裕美子	利明	りつ	富貴子	常代	ミヤコ	喜久男
太平寺 3	清金 3	三納 3	白山町	下林 4	栗田 6	本町 6	押野 1

戸籍の窓

H23.12.16~H24.1.13受付分
個人情報保護のため本人・ご家族の希望があったものを掲載しています

●12月末現在の人口 ()は前月比

人口	48,025人 (+104)
男	24,357人 (+40)
女	23,668人 (+64)
世帯数	20,649世帯 (+46)

●12月中の人の動き

転入	250人
転出	173人
出生	49人
死亡	22人

※住民基本台帳に記載されている数字です

北村	北村	中山	番匠	坂本	桶田	北村	島田
彩乃	菜月	由士	梨乃	琉唯	幸大朗	霜羽	慶二
健太	靖成	曉成	邦和	浩文	歩美	和哉	正美

柴田	湊翔	真弥	晃佑
前住所	住所	住所	住所
新庄5	新庄5	新庄5	新庄5

村松	斎藤	吉田	細田	古瀬	山崎	柳原	小島
美沙	雪菜	秀樹	弥生	雄大	健二	美子	美子
栗田 4	金沢市 1	稲荷 1	住吉町	住吉町	住吉町	住吉町	住吉町

子名	親名	住所	年齢
うぶいえ	うぶいえ	うぶいえ	うぶいえ
おくやみ	おくやみ	おくやみ	おくやみ

“いきいき”のいち人 69

リレー方式で市民の方々を紹介しています



西村 ちひろさん/押野
【右から】誠さん、安裡くん

野々市で暮らしてどうですか？

生まれた時からずっと野々市に住んでいます。昔と比べると道路も広くなり、大型店舗も出来て、発展したなとつくづく思います。私は、野々市のことが大好きなので、これからも住み続けたいと思います。

広報についてのご意見？

全体的に読んでいます。特に、子育て応援ひろばや休日当番医など、子どもに関する記事は必ずチェックしています。支援センターのイベントにもいくつか参加したこともあります。

自分の性格を一言であらわすと？

せっかちなところですかね。

趣味やリフレッシュ方法はなんですか？

ママ友と遊ぶことです。最近、みんなで休みを合わせてランチに行き、楽しくお話をしています。

目標やチャレンジしてみたいことは？

子どもが大きくなったら、家族で冬はスノーボード、夏は海に行きたいですね。他には、3年後に北陸新幹線が開通したら、旅行したいと思っています。

【今月の表紙】

1月8日(日)に行われた市消防出初式取材しました。この日は天候にも恵まれ、会場のあそびや公園には多くの市民が集まりました。

写真は、はしご登りの演技「勇み鷹」の様子。登り手の「はい」と持ち手の「やあ」と息の合った掛け声が響きわたり、技が決まる度に、観客から大きな拍手や歓声が沸き上がっていました。

野々市検定 (問題は16ページ)

【第1問】C 館の存在は江戸時代の絵図や文献資料などによって住吉町地内にあつたと言われていたが、平成6年度の発掘調査で館の堀の一部が確認され、南北朝期以降の館の場所が明らかになった。

【第2問】D 藤原利仁から4代の富樫忠頼が加賀国司の勅命を受けたとされる987年(永延元)から1000年の記念として、1988年(昭和63)に建てられた。

【第3問】A 富樫郷住吉神社は、旧一日市通・中通・六日通(一日市町・中町・六日町 現本町2・3丁目)の鎮守であった。1914年(大正3)、旧西通(西町 現本町4丁目)の鎮守であった照日八幡神社と旧荒横通(荒町 現本町1丁目)の鎮守であった外守八幡神社を合祀して、布市神社と改名した。

編集後記

食をテーマに学校給食とおせちを取り上げました。学校では地域の食材や伝統料理を食べる機会が増えています。おせちを作る家庭が減っていること。今の子どもたちが30年後、治部煮やヤーコンを食べて、懐かしい給食の味となるのではと心配も…。食文化は、本来、家庭や地域で受け継ぐもの。食育は学校にお任せではなく、市民が引っ張る協働型事業でありたい。(M・Y)

昨年末に開かれた、東京での交流会取材しました。参加者には、人間国宝の中野さんや、作曲家の三國さん、ギタリストの井上さんなど芸術家も多く、芸術都市野々市の一面も。そんな私も、市民劇団nonoの一員として市の芸術活動に参加しています。この原稿を書いている今は、市制施行記念公演「トランプの国」の稽古の真っ最中。無事やり遂げていることを願って…。(S・M)

テレビ広報

デジタルハイビジョン009ch
のいちふれあい通信
8:00~ 8:30
18:00~18:30

ラジオ広報

FM放送 76.3MHz
ホームタウン野々市
月~金 / 6:30~ 7:00
11:20~12:00
16:00~17:00

音訳グループ Camellia カミーリア 声で聴く「広報のいち」 問い合わせ 橋野 千恵子 (☎248-2521)
音訳グループ「カミーリア」が、毎月広報のいちを録音したテープを作っています。また、地域ポータルサイト「のいちタウン情報局」でも、聞くことができます。目の見えない人だけでなく、活字が読みにくくなったという人もご利用ください。

お正月を振り返る - おせち料理から見える地産地消 -



おせちには、北陸の貴重な魚のゴリを使用した佃煮。加賀料理に使われる「すだれ麩」がはいった煮物。出世魚のぶりや金沢の郷土料理として知られるえびす、加賀野菜のくわいや石川産の甘海老、カニ、かまぼこ、卵焼き、金粉がふんだんに使われています。おせちは郷土料理の玉手箱。市内大型スーパーによると、近年、おせち料理の販売が減っているとのこと。

上の写真は、昨年11月15日(火)に、文化会館フォルテで収録されたNHK「ごきげん歌謡笑劇場」で紹介されたおせちのお重。

これは、ののいち生活学校の皆さんが食材を集め、作ってくれたものです。家族への愛情とモチの心、地域の食材へのこだわりが詰まっています。

野々市の家庭の味 大根寿しを作ろう!!

12月6日(火)と10日(土)、女性センターで野々市名産の大根寿しの作り方教室が開かれました。塩漬けた大根とにしんをこうじと混ぜ合わせて漬け込みます。その後、自宅で3、4日寝かせて出来上がりです。

参加者は「母が漬けていて、おいしかったので、その味を再現してみたいと思いました」と話していました。

